

春季 営農 座談会 資料

令和4年3月 JAみい

1. あいさつ

5. 園芸振興方針について (P 6～P 7)

2. JA事業報告 (P 1)

6. 農産物買取販売強化について (P 8)

3. 持続可能な地域農業を確立する取組について (P 2)

7. 生産資材関係について (P 9)

4. 高品質米・大豆・麦の安定生産の実践について

(P 3～P 5)

8. その他

主要事業概況表

令和4年1月31日現在 (単位:千円)

事業所名	正組合員数	貯金残高			貸出金残高			長期共済保有高(万円)			購買品供給高			販売品販売高		
		1月末計画	1月末実績	達成率	1月末計画	1月末実績	達成率	令和3年度 期首保有額	1月末保有高	期首対比	1月末計画	1月末実績	達成率	前年同月実績	1月末実績	前年対比
小郡中央支店	1,631	28,995,000	29,221,209	100.8%	5,359,260	5,186,142	96.8%	8,822,783	8,409,584	95.32%	26,060	37,548	144.1%	1,176,617	1,083,501	92.1%
北野中央支店	1,384	24,468,000	24,236,896	99.1%	4,114,857	4,100,011	99.6%	8,821,590	8,447,183	95.76%	24,804	33,514	135.1%	3,697,102	3,485,258	94.3%
大刀洗中央支店	1,422	22,848,000	22,750,014	99.6%	2,721,655	2,587,500	95.1%	7,506,309	7,144,015	95.17%	21,985	29,405	133.8%	908,042	774,152	85.3%
本店・営農センター		674,000	806,498	119.7%	1,007,339	997,187	99.0%							44	46	104.6%
農機燃料センター											635,200	591,133	93.1%			
ライスショップ											19,007	18,606	97.9%			
経済センター											1,607,350	1,512,396	94.1%			
経済部											2,400	3,327	138.6%			
合計	4,437	76,985,000	77,014,617	100.0%	13,203,111	12,870,840	97.5%	25,150,682	24,000,782	95.43%	2,336,806	2,225,929	95.3%	5,781,805	5,342,957	92.4%

【持続可能な地域農業を確立する取組】

1. 令和4年度 経営所得安定対策について

対象者：担い手農家(認定農業者、集落営農、認定新規就農者)

内容：I 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

II 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)

III 水田活用の直接支払交付金

① 令和4年産の水稻作付について

令和4年産も県と地域の水田協議会が中心となり、水稻の過剰作付を無くし需要量と価格安定を図るために作付目標をお知らせ致します。

[水稻作付率](予定含む)

	令和4年産	令和3年産	令和2年産	令和元年産
北野町	44.54%	45.14%	46.22%	47.0%
小郡市	50.0%	50.2%	50.1%	50.2%
大刀洗町	54.0%	54.1%	53.5%	54.0%

2. 農業経営等に関する取組

① 集落営農組織・個別経営体の法人化支援

農地中間管理事業の活用、法人化に関する研修会を開催致します。

② 新規就農者支援

農地・栽培品目・資金・補助金等の相談支援をJAと関係機関が連携し行います。

3. TAC活動について

「地域農業の担い手」に日々出向き、その「担い手」の声・要望を収集しJAにつなぐことにより、JAグループの事業に反映させ担い手の要望に応えていきます。

4. 国・県等の補助事業活用について

① 産地基盤パワーアップ事業(国)

地域一丸となって収益力強化に取り組む産地に対し、計画策定経費、計画の実現に必要な農業機械のリース導入や集出荷施設の整備に係る経費等をすべての農作物を対象として総合的に支援する事業です。

対象者：農業者・農業者団体等

対象施設等:パイプハウス ※農業機械導入についてはリースになります。

補助率：1/2

令和3年度実績 北野地区9件 小郡地区4件 大刀洗地区1件 管内計14件

② 活力ある高収益型園芸産地育成事業(県)

福岡県園芸農業の持続的な発展を図るために、先進技術の導入や省力機械・施設等の生産条件の整備を進め、収益性が高く活力ある園芸産地を育成する事業です。

対象者：農業者・農業者団体等

対象施設等:パイプハウス・管理機・播種機・堆肥散布機・野菜保冷庫他

補助率：1/2または1/3

令和3年度実績 北野地区13件 小郡地区4件 大刀洗地区2件 管内計19件

5. 労災(労働者災害補償制度)について

JAみいでは事業主及び家族従事者が加入できる労災保険の特別加入制度の労災組合(特定農作業従事者・指定農業機械作業従事者)があり、組合を通じての加入ができます。特別加入制度とは、労働者以外の方のうち、業務の実態や、災害の発生状況からみて、労働者に準じて保護することがふさわしいと見なされる人に労災保険に特別に加入することを認めている制度です。

① 特定農作業従事者(年間販売額300万円以上又は経営面積2ha以上の方が加入できます)

I トラクター等の農業機械を使用する作業

II 2m以上の高所での作業

III サイロ等の酸欠危険のある作業 IV 農薬散布 V 牛・馬・豚に接触する作業

② 指定農業機械作業従事者(指定された機械を使用し農作業を行う方が加入できます)

動力耕転機その他農業用トラクター・動力溝堀機・自走式田植機・自走式防除用機・自走式動力刈取機・自走式収穫用機械・トラック、自走式運搬用機械・動力脱穀機や動力草刈機などの定置式または携帯式機械・無人航空機

令和3年度 労災(労働者災害補償制度)加入件数

特定農作業従事者	北野地区15件	小郡地区2件	大刀洗地区4件	管内計21件
指定農業機械作業従事者	北野地区3件	小郡地区39件	大刀洗地区9件	管内計51件

お問い合わせ先

JAみい 営農センター 営農企画課 TEL 78-3037

北野中央支店 営農経済課 TEL 78-3799

小郡中央支店 営農経済課 TEL 72-1000

大刀洗中央支店 営農経済課 TEL 77-0045

【需要に応じた米づくりの実践】

1. 米をめぐる状況について

農林水産省が令和3年11月19日に公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」で定めた令和3/4年の需給見通しは、令和3年6月末の民間在庫量が218万トン（確定値）、これに令和3年産主食用米等生産量の701万トン（令和3年10月25日現在の予想収穫量）を合わせて、供給量は919万トン（前年比▲3万トン）となる見通しです。

なお、需要量の見通しは702万トン（前年比▲2万トン）となります。令和3年産米の相対取引価格が令和2年産米より下落していることが需要量に及ぼす影響や、直近の米の販売量が対前年同期比で増加していること等を踏まえて、702～706万トンの幅を持って設定されています。

その結果、令和4年6月末の民間在庫量は213～217万トン（前年比▲1～5万トン）が見込まれています。

ただし、上記の在庫量については、国の見通しである需要量が目安通りとなつた場合の想定であり、需要量が新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によっては、今後大幅に変動する可能性があります。

○令和3/4年の主食用米等の需要見通し（農林水産省） 単位：万トン

令和3年6月末民間在庫量	①	218
令和3年産主食用米等生産量	②	701
令和3／4年主食用米等供給量計	③=①+②	919
令和3／4年主食用米等需要量	④	702～706
令和4年6月末民間在庫量	⑤=③-④	213～217

2. 福岡県の米作柄状況と集荷状況

福岡県における水稻の作柄は、田植期の6月中旬や分げつ期の7月上旬が日照不足で経過し、初期生育や分げつが抑制され穗数が「やや少ない」となったことに加え、8月中旬が大雨等の天候不順により気温が低く日照不足で経過し、全もみ数が「少ない」となった。9月中旬以降は天候に恵まれ全もみ数が平年に比べ少なかつたことによる補償作用で粒の肥大・充実が促進され、登熟は「やや良」となったものの、10a当たり収量は473kg（作況指数98）となりました。

全国地域別 10a当たり収量												(単位: kg)
地域	北海道	東北	東山東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国平均	
3年産	597	581	545	531	493	503	517	482	485	319	539	
前年増減	+18	-5	+2	-19	+13	+13	+32	+12	+45	-3	+8	

福岡県産米の集荷状況（12月末現在）										(単位: トン)	
品種	主食うるち米						もち米	加工用米	飼料用米	米粉用米	備蓄米
	コシヒカリ	夢づくし	元氣づくし	ヒノヒカリ	実りづくし	その他					
3年産	387	13,090	13,622	11,451	1,549	241	2,230	1,033	2,136	790	75
2年産	253	11,799	10,544	7,971	894	140	1,630	782	1,493	491	72
前年比	153%	111%	129%	144%	173%	172%	137%	132%	143%	161%	104%

3. 令和3年産米の価格状況

玄米販売単価は、前年産に比べ下がってスタートし、その後、段階的に下がっています。

令和2年産米が需給緩和状況にあることや全国的な令和3年産米の生産状況が順調に推移していることから、早期米の玄米販売価格にも影響を及ぼしています。

また、令和2年産米の持越し在庫が42万トン以上あることから、令和2年産米と令和3年産米が並行して販売されるため、価格競争に拍車がかかること懸念されます。

なお、現時点での玄米販売価格（市中相場、産地置き場価格）については、九州産ヒノヒカリで10,600～10,900円／60kg、関東産コシヒカリで9,600～9,900円／60kg、東北産ひとめぼれで9,700円／60kg程度と需給環境が厳しいことが販売価格に大きく影響しています。

以上の情勢を踏まえ、JAみい農産課では5つの項目を重点方針とし、その実践に取り組みます。

- ① 自主的生産調整を促し、価格安定を図る
- ② 生産調整に対し、第一に農家所得を考え大豆の作付振興を行う
- ③ 大豆の作付が難しい地域については、飼料用米等への転換を図る
- ④ 販売面では、販売先と産地の結び付きを基本とした生産・集荷・販売の取り組み
- ⑤ 産地の特色を活かしたJAふくおか米の確立

※ JA米の要件

- ・ 銘柄が確認できた種子により生産された米穀（種子更新率 100%）
- ・ 登録検査機関で受検した米穀
- ・ 生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳が確認された米穀

大豆新品種「ちくしB5号」の導入

J Aみいでは令和6年産より 『ちくしB5号』へ全面転換いたします

～大豆品種切替えの背景～

J Aみいの大豆生産は、現在の栽培品種「フクユタカ」において、播種時期の長雨による播種遅れや登熟期の天候不良による大粒比率の低下等により、平均単収が200kg/10aに届かない状況が続いています。

そこで、試験栽培を重ねた結果、令和7年産からの福岡県全面転換を踏まえJ Aみいでは**令和6年産より**大豆の生産向上に向けて、現品種の「フクユタカ」から新品種「ちくしB5号」への全面転換を行います。

● J Aみい大豆作付面積・反収の推移

	平成26年産	平成27年産	平成28年産	平成29年産	平成30年産	令和元年産	令和2年産
作付面積 (a)	63,611	61,537	60,943	61,629	61,138	60,481	48,583
反収 (kg/10a)	188	176	188	195	181	122	93

ちくしB5号 品種特性

- 成熟期が**2日程度早い**
- 草丈がやや低く、倒伏に強い
- 粒は大きく、収量は**8%多い**
- 最下着莢高が高く、**収穫ロスは少ない**
- **6月下旬からの早播ができる**



草姿の比較

ちくしB5号（左）、フクユタカ（右）

	ちくしB5号	フクユタカ
成熟期（月日）	11月6日	11月8日
主茎長（cm）	64	69
最下着莢高（cm）	13.0	11.6
倒伏程度	微	少
青立ち程度	微～少	少～中
百粒重（g）	31.6	30.1
収量（kg/10a）	337 (108%)	312 (100%)
検査等級	1等	1等
ヘその色	黄	淡褐
タンパク質含有率(%)	44.6	45.7

注) 福岡県農林業総合試験場における平成24～27年の4か年平均
(7月10日播き)。



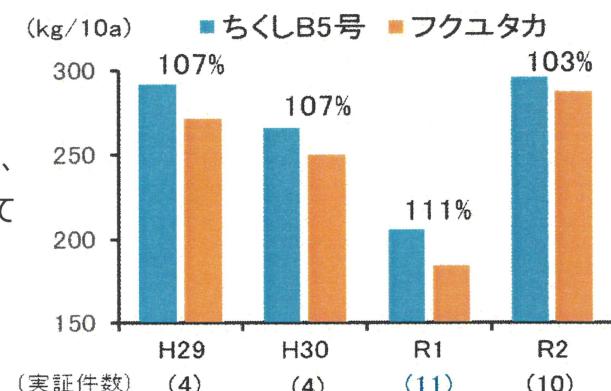
子実の比較

ちくしB5号（左）、フクユタカ（右）

● 「ちくしB5号」現地試験結果

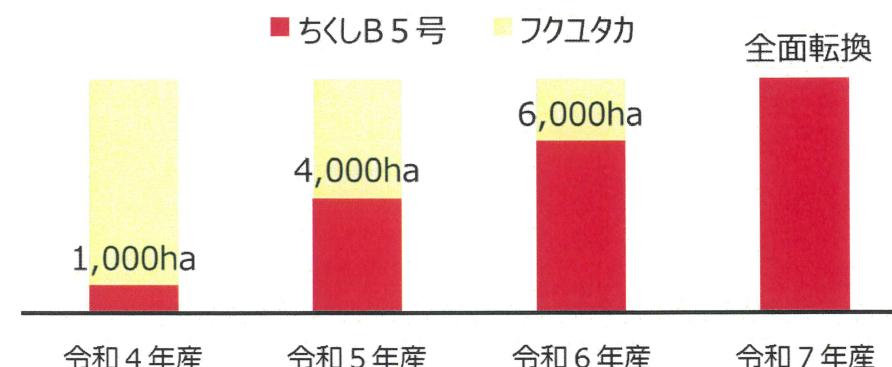
福岡県内における現地試験の結果、「ちくしB5号」は「フクユタカ」に比べて最大11%多収となりました。

(平成29年産～令和2年産)



福岡県は令和7年産で「ちくしB5号」に全面転換します！

● 福岡県「ちくしB5号」導入計画



「ちくしB5号」の導入により安定供給・所得向上！

近年、九州産大豆の生産量は大幅に減少しているため、実需者からは安定供給を強く望まれています！「ちくしB5号」の導入は、実需者への安定供給に応えるとともに、生産者手取りの増加も期待できます！生産者手取りは、「フクユタカ」より単収アップすることで収入も増加する！ぜひ、大豆新品種「ちくしB5号」の導入により、生産量の確保と生産者所得の向上を果たしましょう！